

令和5年度大学・附属学校園連携事業推進経費 成果報告書

<p>所属名</p>	<p>理数情報教育系, 附属幼稚園</p>
<p>研究課題名</p>	<p>教育コラボレーション演習「附属幼稚園への支援活動」の試行 ～教員の働き方改革を視野に入れて～</p>
<p>研究課題概要</p>	<p>本研究では、本学教育協働学科3回生必修科目「教育コラボレーション演習」の新たな演習先として、昨年度導入された「本学附属幼稚園への支援活動」に関連して、最大17名の試行協力学生と共に下記の4つの取り組みを進め、その成果を整理した。</p> <p>取り組み1:算数学習教具「こつぶちゃん」関連玩具の試作: 試行協力学生の多くが理数情報専攻数理情報コースの学生であることから、より先輩の生の声として、下級生に本支援活動の具体性と興味深さを伝えるために、彼らにとってより専攻に近い内容で試行を行うべく、題材として算数学習教具「こつぶちゃん」を用いることとした。そこでまず、令和5（2023）年4月に、園児が「こつぶちゃん」に馴染むための「玩具」を試作した。</p> <p>取り組み2:遠足でのサポート: 次に、令和5（2023）年6月に、附属幼稚園児（年長児2クラス）が本学へ遠足に訪れた際に、道案内等のサポートを試行協力学生と共にいった。これにより、園児の実態把握と幼稚園教諭の指導の実際を学ぶことが出来た。</p> <p>取り組み3:算数学習教具「こつぶちゃん」関連玩具の改良I: 次に、令和5（2023）年8月に、試作した「こつぶちゃん」に馴染むための「玩具」を、よりブラッシュアップさせるべく、附属幼稚園において、年長児担当の先生方と共に教材研究する機会を設けた。プロの先生方から様々な角度からの助言をいただくことで、やりがいや教材への愛着等、学生の意識に変容が見られた。</p> <p>取り組み4:算数学習教具「こつぶちゃん」関連玩具の改良II: 最後に、令和6（2024）年2月に、次年度の試行協力学生への引継ぎも兼ねて、「こつぶちゃん」に馴染むための「玩具」を作成する練習の機会を設けた。他学年の学生との協働を経て、玩具の改良に加えて、学生の意識に更なる変容が見られた。今後は、作成した「玩具」を用いて、幼稚園での実践を行う予定である。</p>
<p>研究課題の構成員 (リーダーに※)</p>	<p>藤田 真依 (以下理数情報教育系) ※ 東尾 晃世 小池 美里 (附属幼稚園)</p>